

新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ

G. ヴェルディ

# 椿 姫

La Traviata

2022年3月10日(木)~3月21日(月)

会場:新国立劇場オペラパレス 2022年1月30日(日)前売開始



2019年公演より

## パリ社交界に咲いた真実の恋 世界中で愛される悲恋の物語

世界中で不動の人気を誇る傑作オペラ『椿姫』。華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と哀しい運命を描き、「乾杯の歌」をはじめ、「ああ、そは彼の人か〜花から花へ」「プロヴァンスの海と陸」など名曲揃いの人気作品です。ブサールによる美しく洗練されたプロダクションは、誇り高く生き抜いた女性の姿を鮮やかに描き出し、深い感動を誘います。

## ヴィオレッタに中村恵理、新鋭デソーレほかフレッシュなキャスト

ヒロインのヴィオレッタには世界的ソプラノとして飛躍する中村恵理が登場。ドラマティックな感情表現に定評ある中村のヴィオレッタはオペラファン必見。共演にはデソーレ、ミシュケタらフレッシュなキャスト。精緻な音楽創りが高評価を博すユルクケヴィチが指揮を務めます。

\* 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式に基づき、演出の一部を変更して上演します。

\* 招聘キャスト、指揮者につきましては、出入国制限の状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi\_y2525@nntt.jac.go.jp

## パリ社交界に咲いた真実の愛。屈指の人気を誇る悲恋オペラ。

世界中で不動の人気を誇る、オペラの代名詞的作品『椿姫』。ガラ・コンサートの定番曲「乾杯の歌」やヴィオレッタの超絶技巧の aria「ああ、そは彼の人か～花から花へ」、「プロヴァンスの海と陸」など、誰しも耳にしたことのある名曲の数々が、高級娼婦ヴィオレッタの愛と哀しい運命を物語ります。

演出のヴァンサン・ブサールは色彩にこだわる洗練されたビジュアルの舞台に定評があり、この『椿姫』でもその美的センスを発揮。鏡を用いた効果的な舞台で心象風景を描出し、男性社会に誇り高く生きる女性の姿を印象付けます。

## オペラファン必見の中村恵理のヴィオレッタとフレッシュな共演者

悲劇のヒロイン、ヴィオレッタに出演するのは世界のソプラノとして飛躍する中村恵理。ヴィオレッタは近年レパートリーの中核に据えている役で、ドラマティックな感情表現が持ち味の中村恵理のヴィオレッタには、心揺さぶられること間違いありません。アルフレードにはイタリアで躍進中の新進テノール、マッテオ・デソーレ、ジェルモンにはイタリアの主要劇場で活躍する実力派ゲジム・ミシュケタが出演します。指揮は元ポーランド国立歌劇場音楽監督で、精緻な音楽創りが高評価を得ているアンドリー・ユルケヴィチです。

### <「椿姫」あらすじ>

【第1幕】 パリ社交界の華である高級娼婦ヴィオレッタは、肺の病で先が長くないことを悟っている。今夜も自宅のサロンでパーティを開催。ガストン子爵が、青年アルフレードを連れてくる。彼は「1年前にあなたを見て以来ずっと恋している」と真摯にヴィオレッタに告白するのだった。ひとりになったヴィオレッタは、今まで経験したことのない、心からの愛の告白に心ときめくが、たかが愛のために享樂的な人生は捨てられない、と我に返る。



【第2幕】 アルフレードとの愛を選んだヴィオレッタは、パリ郊外の田舎で彼と静かに暮らしているが、生活費のため全財産を競売にかけようとしていた。それを知ったアルフレードは競売を止めさせようとパリへ向かう。すれ違いでヴィオレッタが帰宅すると、家にはアルフレードの父ジェルモンが。アルフレードの妹の縁談を成立させるため、息子と別れるようジェルモンは頼む。今は彼との愛だけが生きる希望であるヴィオレッタは、はじめ拒むが承諾し、別れの手紙を書いて家を出る。事情を知らないアルフレードは手紙に愕然とし、父が「一緒に故郷に戻ろう」と慰めても聴く耳をもたない。アルフレードは怒りが収まらず、夜会の大勢の客の前でヴィオレッタを罵倒する。彼女は絶望に打ちのめされる。



【第3幕】 1ヵ月後。死の床に伏しているヴィオレッタ。そこに、父ジェルモンからすべてを聞いたアルフレードが来て、許しを乞い、パリを離れて一緒に暮らそうと語る。ヴィオレッタは愛する人に囲まれ息絶える。



### <主要キャスト・スタッフプロフィール>

#### 【指揮】アンドリー・ユルケヴィチ

#### Andriy YURKEVYCH

ウクライナ生まれ。1999年にウクライナのリヴィウ音楽大学を卒業し、ポーランド国立歌劇場でヤツェク・カスブシク、イタリア・シエナの音楽院でジェルメッティ、ペーザロでアルベルト・ゼツダのもとで学ぶ。96年からリヴィウ国立オペラ常任指揮者となり、『アイダ』『ナブッコ』『イル・トロヴァトーレ』『椿姫』『オテロ』『蝶々夫人』『トスカ』『カルメン』やロシア・オペラなどを指揮する。オデッサ・オペラ・バレエ総指揮者、ポーランド国立歌劇場音楽監督、ワルシャワ大劇場音楽監督を歴任、現在、モルドバ国立オペラ・バレエ首席指揮者。ローマ歌劇場には2005年『白鳥の湖』『眠れる森の美女』で登場後、10/11シーズン開幕公演『ファルスタッフ』も指揮した。サンチャゴ市立劇場、サンフランシスコ・オペラ『連隊の娘』、バイエルン州立歌劇場、シュトゥットガルト州立劇場『セビリアの理髪師』、モンテカルロ歌劇場『ランスへの旅』、モネ劇場『運命の力』『ボリス・ゴドゥノフ』、ザンクトガレン歌劇場『スペードの女王』、ギリシャ国立歌劇場『清教徒』、ナポリ・サンカルロ歌劇場『マリア・ストゥアルダ』、ワルシャワ大劇場、バイエルン州立歌劇場、モルドバ国立オペラ『エウゲニ・オネーギン』、ウィーン国立歌劇場、チューリヒ歌劇場、テアトロ・レアル『ロベルト・デヴリュー』、リセウ大劇場『アンナ・ボレーナ』など多くのオペラを指揮している。新国立劇場では19/20シーズン『エウゲニ・オネーギン』を指揮した。



**【演出・衣裳】ヴァンサン・ブサール**

Vincent BOUSSARD

1999年コメディ・フランセーズにて演出家デビュー。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、スウェーデン王立歌劇場、モネ劇場、サンフランシスコ・オペラ、エクサプロヴァンス音楽祭、インスブルック音楽祭など各地の歌劇場や音楽祭に登場。演出作品には、パーセル『デイドとエneas』、ヘンデル『テオドーラ』、シャルパンティエ『オルフェウスの冥府下り』、カヴァツリ『エリオガバロ』などのバロック・オペラ、メノッティ『マリア・ゴロヴィン』、ブノワ・メルニエ『春の目覚め』などの現代オペラのほか、『偽の女庭師』『カプレーティ家とモンテッキ家』『カルメン』『蝶々夫人』『サロメ』『アドリアーナ・ルクヴール』『キャンディード』など多岐に渡る。最近では、リトニア国立オペラ『マノン』、ストラズブル・ラン歌劇場で『椿姫』、ザルツブルグ復活祭音楽祭『オテロ』、リセウ大劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』、ザンクトガレン歌劇場『ローエン格林』などを演出。幾つかのプロダクションはテレビ放映やDVD化され、『春の目覚め』はディアパソン・ドール賞を受賞している。

**【ヴィオレッタ】中村恵理(ソプラノ)**

NAKAMURA Eri

大阪音楽大学、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。2008年英国ロイヤルオペラにデビュー。翌年、同劇場の『カプレーティ家とモンテッキ家』にネトレブコの代役として出演し、一躍脚光を浴びる。そののち、カーディフ国際音楽コンクールにて、歌唱賞・オーケストラ賞の両部門で本選進出。10～16年はバイエルン州立歌劇場専属歌手となり、『フィガロの結婚』スザンナ役でデビュー後、ケント・ナガノ、キリル・ペトレンコ、大野和士らの指揮のもと、『魔笛』『ホフマン物語』『ヘンゼルとグレーテル』『ボリス・ゴドゥノフ』などに主要キャストとして出演。英国ロイヤルオペラに『フィガロの結婚』スザンナ、『ウェルテル』ソフィー、『トゥーランドット』リユーなどで客演に招かれるほか、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザルツブルク州立劇場など客演多数。16年11月、『チェネレントラ』クロリンダでウィーン国立歌劇場にデビュー。19年には台中国家歌劇院の『神々の黄昏』ヴォークリンデに出演。12年度アリオ賞、15年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、17年第47回JXTG音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。大阪音楽大学客員教授、東京音楽大学非常勤講師。新国立劇場では『フィガロの結婚』バルバリーナ(03、05年)、スザンナ(07、17年)、06年『イドメネオ』イーリア、07年『ファルスタッフ』ナンネッタ、19年『トゥーランドット』リユーなど出演多数。21年12月には『蝶々夫人』タイトルロールに出演し絶賛された。

**【アルフレード】マッテオ・デソーレ(テノール)**

Matteo DESOLE

サッサリ出身。モデナで学び、2015年にボローニャ歌劇場『マクベス』マルコムでデビュー後、ヨーロッパ各地の劇場に次々にデビュー。最近では、ローマ歌劇場、フェニーチェ歌劇場、フィレンツェ歌劇場『椿姫』アルフレード、カリアリ歌劇場『ルチア』エドガルド、エルルで『ラ・ボエーム』ロドルフォ、フィレンツェ歌劇場『つばめ』ルッジェーロ、モデナ、フェッラーラ、レッジョ・エミリアで『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョ、ロンドン・ホランドパーク・オペラ『椿姫』、クラーゲンフルト歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、ミラノ・スカラ座『フランチェスカ・ダ・リミニ』『群盗』、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『シモン・ボッカネグラ』、バーリ・ペトルツェリ劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォなどに出演している。新国立劇場初登場。

**【ジェルモン】ゲジム・ミシュケタ(バリトン)**

Gezim MYSHKETA

アルバニア出身。パルマで学び、2006年のAsLiCoコンクールで優勝。マシー歌劇場ツアー公演『ドン・ジョヴァンニ』レポレットでデビュー。マルセイユ歌劇場『ルチア』エンリーコ、ヴェローナ・フィラモノコ劇場『マリア・ストゥアルダ』グリエルモ・セシル卿、AsLiCo公演『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、ベルリン・ドイツ・オペラ『カルメン』エスカミーリョ、ハンブルク歌劇場『椿姫』ジェルモンで成功し賞賛される。シュトゥットガルト州立歌劇場には13年に『ファルスタッフ』フォードでデビューした後、『椿姫』、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『カルメン』、『ファウスト』ヴァランタン、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『清教徒』リッカルドに出演。ライブツィヒ歌劇場では16年『椿姫』ジェルモンに出演後、『蝶々夫人』『ルチア』に出演。最近ではボローニャ歌劇場、トリノ王立歌劇場『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、ライブツィヒ歌劇場『椿姫』『ラ・ボエーム』『カルメン』、チューリヒ歌劇場『運命の力』、ザクセン州立歌劇場『カルメン』、カリアリ歌劇場『マクベス』タイトルロール、モンペリエ歌劇場『ファルスタッフ』フォードなどに出演。新国立劇場初登場。

**【フローラ】加賀ひとみ(メゾソプラノ)**

KAGA Hitomi

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程オペラ専攻修了。日生劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』ロメオ、東京文化会館オペラBOX『バステアンとバステイエンヌ』バステアン、二期会『オテロ』エミーリア、同『メリー・ウィドー』オルガ、同『ドン・カルロ』テバルド、同『椿姫』フローラ、クオーレ・ド・オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントウツァ、あいちトリエンナーレ『ホフマン物語』ミュージック・ニクラウスなどに出演。神奈川県民ホール開館40周年記念『水災伝説』(一柳慧作曲/改訂版初演)では、老女役とトコヨ乙女役の二役を演じた。そのほか、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『カルメン』カルメン、『魔笛』侍女2、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『友人フリッツ』ベッペ、『アドリアーナ・ルクヴール』ダンジュヴィル、『マノン・レスコー』声楽家などに出演している。コンサートでもソリストとして出演しているほか、作曲家・古庄奈穂子氏のアレンジによる童謡など親しみやすいプログラムのリサイタルを東京、栃木、青森など各地で開催している。新国立劇場へは『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル以来の登場。二期会会員。



**【ガストン子爵】金山京介(テノール)****KANAYAMA Kyosuke**

国立音楽大学声楽科首席卒業、卒業時に矢田部賞受賞、オペラ・ソリストコース修了。東京藝術大学大学院オペラ科修了。二期会オペラ研修所第56期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。第80回読売新人演奏会に出演。これまでに『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド、『秘密の結婚』パオリーノ、『椿姫』アルフレード、『滝の白糸』(世界初演)口上の芸人、『フィレンツェの麦わら帽子』ファディナル、『こうもり』アルフレード、『メリー・ウイダー』カミュー等で出演。2015年、東京二期会・リンツ州立劇場との共同制作『魔笛』タミーノで二期会オペラにデビュー。その後、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、『後宮からの逃走』ベルモンテ、神奈川県民ホール『魔笛』タミーノ、二期会『後宮からの逃走』ベルモンテ、『メリー・ウイダー』カミュー、全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ等に出演。2021年は二期会『魔笛』タミーノ、『こうもり』アルフレードに出演。クラシックとJ-POPをクロスオーバーさせた男声オペラ歌手4名による声楽ユニット「La Dill(ラ・ディル)」メンバー。新国立劇場初登場。二期会会員。

**【ドゥフォール男爵】成田博之(バリトン)****NARITA Hiroyuki**

国立音楽大学声楽科卒業、同大学大学院オペラコース修了。文化庁オペラ研修所第10期修了。03年ミトロプーロス国際声楽コンクール(アテネ)最高位など受賞多数。これまでに『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『カルメン』エスカミーリョ、二期会では『ドン・カルロ』ロドリゴ、『リゴレット』タイトルロール、『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵などに出演。新国立劇場では『アンドレア・シェニエ』ルーシェ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『沈黙』ヴェリニャーノ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、『エウゲニ・オネーギン』ザレツキー、『椿姫』ドゥフォール男爵、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレス、子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ『Super Angels スーパーエンジェル』ジョージなどに出演している。二期会会員。

**【ドビニー侯爵】与那城 敬(バリトン)****YONASHIRO Kei**

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業、同大学研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。これまでに『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、『ラ・ボエーム』マルチェッロなどに出演。新国立劇場では平成21年度芸術祭祝典『メリー・メリー・ウイドウ』ダニロ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『鹿鳴館』影山悠敏伯爵、『沈黙』フェレイラ、『道化師』シルヴィオ、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』コンラート・ナハティガル、演奏会形式『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールに出演。二期会会員。



新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ  
G. ヴェルディ **椿姫**  
Giuseppe VERDI / La Traviata  
全3幕〈イタリア語上演/日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】2022年3月10日(木)19:00/13日(日)14:00/16日(水)14:00/19日(土)14:00/21日(月・祝)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:27,500円・A:22,000円・B:15,400円・C:8,800円・D:5,500円・Z:1,650円

【前売開始】2022年1月30日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式に基づき、演出の一部を変更して上演します。

※招聘キャスト、指揮者につきましては、出入国制限の状況により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

指揮	アンドリー・ユルケヴィチ	ヴィオレッタ	中村恵理
Conductor	Andriy YURKEVYCH	Violetta Valéry	NAKAMURA Eri
演出・衣裳	ヴァンサン・ブサル	アルフレード	マッテオ・デソーレ
Production and Costume Design	Vincent BOUSSARD	Alfredo Germont	Matteo DESOLE
美術	ヴァンサン・ルメール	ジェルモン	ゲジム・ミシュケタ
Set Design	Vincent LEMAIRE	Giorgio Germont	Gezim MYSHKETA
照明	ガイド・レヴィ	フローラ	加賀ひとみ
Lighting Design	Guido LEVI	Flora Bervoix	KAGA Hitomi
ムーヴメント・ディレクター	ヘルゲ・レトニーヤ	ガストン子爵	金山京介
Movement Director	Helge LETONJA	Visconte Gastone	KANAYAMA Kyosuke
再演演出	澤田康子	ドゥフォーール男爵	成田博之
Revival Director	SAWADA Yasuko	Barone Douphol	NARITA Hiroyuki
舞台監督	斉藤美穂	ドビニー侯爵	与那城 敬
Stage Manager	SAITO Miho	Marchese D'Obigny	YONASHIRO Kei
		医師グランヴィル	久保田真澄
		Dottor Grenvil	KUBOTA Masumi
		アンニーナ	森山京子
		Annina	MORIYAMA Kyoko
		ジュゼッペ	中川誠宏
		Giuseppe	NAKAGAWA Masahiro
		使者	千葉裕一
		Commissionario	CHIBA Yuichi
		フローラの召使い	上野裕之
		Domestico di Flora	UENO Hiroyuki
合唱指揮	三澤洋史		
Chorus Master	MISAWA Hirofumi		
合唱	新国立劇場合唱団		
Chorus	New National Theatre Chorus		
管弦楽	東京交響楽団		
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra		
芸術監督	大野和士		
Artistic Director	ONO Kazushi		

公演賛助: 日本たばこ産業株式会社

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/latraviata/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* 乙席 1,650円: 公演当日朝 10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。\* 未就学児入場不可。

\* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染症拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

[https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23\\_017576.html](https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)

本公演はレパトリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



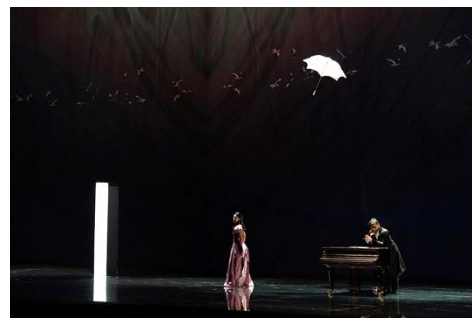
【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】

新国立劇場『椿姫』2019年公演より 撮影:寺司正彦